

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

| | | | |
|---------|-----------------------------|------------|--------------|
| 名称 : | 所沢市立キャンバス | 種別 : | 生活介護 |
| 代表者氏名 : | 奥富 健雄 | 定員(利用人数) : | 50 名 |
| 所在地 : | 〒 359-0001 埼玉県所沢市下富653-5 | TEL | 04-2943-6110 |

③評価実施期間

令和 7 年 6 月 20 日 (契約日) ~ 令和 7 年 11 月 4 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

利用者主体の「自治会」を設置している。「自治会」の自治会長も、利用者の互選により選出している（任期は1年）。また「自治会」の役員は、5つの班（「わかば班」「つくし班」「なぎさ班」「オアシス班」「スマイル班」）から1名ずつ選任している。「自治会」では2か月ごとに定例会を開催し、利用者同士で話し合い、合議的に物事を決定する取り組みを行っている（職員が必要な支援を行っている）。

利用者の状態や希望等に応じた「班」による日中活動を行っている。グリセリン石鹼の製作、絞り染め巾着の製作、和紙の折り染めを使ったヘアゴムやミニ封筒、ストラップ、キーホルダーの製作、ビーズを使ったブレスレットの製作、チラシ折、段ボールやアルミ缶回収、絞り染めを施した汗拭きや布巾等の製作、野菜の栽培、お茶の販売、「トコロン」（所沢市のゆるキャラ）を刺繍した布の製作、クリスマスキャンドルやモザイクキャンドルの製作、陶器の製作と販売、フェルト素材の動物やおにぎりを使ったキーホルダー、ヘアピンの製作等、多岐に渡る日中活動を行っている。

◇特にコメントを要する点

「事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している」についての自己評価が、「a」27.3%、「b」54.5%、「c」18.2%となっている。また、「福祉サービスの質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している」について「a」が54.5%となっているが、「評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している」については「a」が27.3%となっている。PDCAサイクルに基づく事業計画を策定し、重点方針に基づく重点具体策や実践行動具体策を明確にしているが、事業計画に対する職員の理解を促進する取り組みや、サービスの質を高める取り組みを修正する（改善する）取り組み等にも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

事業計画の策定と実施状況の把握・評価・見直しが組織的に行われているにも関わらず、自己評価で職員の理解度が「a」が低い（27.3%）結果は、計画が一部の管理層に留まっていることがわかりました。
 計画の進捗状況を定期的に職員全体に共有する仕組みを整備し、職員が常に計画を意識できる環境を作ります。
 「福祉サービスの質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している」（a : 54.5%）と一定の取り組みがある一方で、「評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している」（a : 27.3%）が低い結果は、PDCAサイクルの「C（評価）」と「A（改善）」が組織的に機能していないことを示しており、ご指摘の通り最も改善すべき点であると認識しました。
 評価結果を分析し、組織的な課題を抽出し、部署横断的な改善策を計画的に立案・実行する体制を整えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」とおり